



ごりょうかく

文責:長澤永子(教頭)

◇閉校記念式典 & フェスティバル◇

閉校式典なんてまだ先だと思っていましたが、いよいよこの日がやってきました。穏やかな秋の1日。保護者の皆様、地域の皆様に支えていただき無事に開催できたことに感謝です。

午前の閉校式典では、子どもたちが学習してきたことを堂々と発表することができました。どの学年も自分たちなりの課題を持ち、その課題に向けてクラスや学年で取り組んで来た足跡がとても分かりやすかったですね。

そして小平奈緒さんの来校には誰もが心が弾みました。奈緒さんのお人柄がとてもステキでした。『人とつながる』をテーマに奈緒さんがどんな方とどんなふうに繋がってきたのか、その根底にはお父様の「友だちをつくってこいよ」お母様の「必ず誰かが見ていてくれる」の言葉があったことを教えていただきました。また、友だちに寄り添うとはどんなこと? 「友だちは自分にはない考えを持っていたり、知らない世界を持っていたりして一緒にいると楽しいし、相手のいいところに目を向けてきた」とお話をいただきました。子どもたちにとっても、私たち大人にとっても一つ一つの言葉が心にしみた気がします。

午後のフェスティバルもとても盛大でした。1,000人以上の方々が来校されたと思います。児童も保護者の方々、地域の皆さんも今ある田口小学校でフェスティバルが開催されたことが1番嬉しかったですね。きっと、校舎も校庭も喜んでいるはずですよ。



◇11月～12月の行事から◇

1年生・2年生スケート教室へ。寒さに負けず、スケートを体いっぱい楽しみました。



田口っ子フェスティバル。児童会主催の伝統行事。子どもたちはこの日をとても楽しみにしていました。



5年生の新校見学会。色々なところに工夫されていてびっくりです。新小学校楽しみです。



加藤先生による『書き初め』のご指導。田口の子どもたちは習字が上手。これも伝統。



『まあるいたまご』の皆さんの読み聞かせ。50mの大きな巻物の読み聞かせは大迫力。



江戸時代にタイムスリップ『お堀の見学』歴史を感じ、お堀の中からの景色は貴重な経験。



職員も子どもたちが学びやすい授業づくりのために研修をしました。愛知教育大学名誉教授 志水廣先生をお招きし、実際に授業を参観してご指導をいただきました。子どもたちの表情やつぶやきを見逃さず授業をすることの大切さを教えていただきました。子どもたちの「わかった!できた!」を目指していきます。



三学期の主な予定

- ◆ 12/28 (水) ~ 1/9 (月) 冬休み
- ※ 1/10 (火) 学校徴収金口座振替日
- ◇ 1/10 (火) 3学期始業式 下校14:10
- ◇ 1/13 (金) 3~6年生スキー教室
- ◇ 1/16 (月) なかよし旬間
- ◇ 1/20 (金) 臼中新入生保護者説明会
- ◇ 1/20 (金) スクールカウンセラー訪問日

- ◇ 1/27 (金) PTA講演会
- ◇ 2/16 (木) 参観日・PTA総会
- ◇ 2/28 (火) 地区児童会
- ◇ 3/1 (水) 6年生送る会
- ◇ 3/10 (金) 3学期終業式
- ◇ 3/11 (金) 卒業式・閉校式



10月の学級PTAで出された質問にお答えします。

Q：高学年より 新校の運動着は買った方がよいか。買わなくても良いか。

A：すぐを買う必要は無いが買い換えの時期に合わせて購入していただきたい。それまでは類似の物で、これまで使用してきた物で代用可。

Q：下校時に運動着を着るとすぐに穴が空いてしまうと運動着のある学校の保護者から聞いたが、できれば体育の時のみ着用して欲しい。学校で着替えはできないか。

A：新小学校の着替えの場所が確保できないことから体育の授業がある日は朝から運動着で登校となります。また新小学校の日課からも着替えの時間の確保は難しい。ご理解をお願いしたい。

Q：夏場や運動会練習で洗濯が間に合わない時に白色のTシャツの代用は良いか。ハーフパンツは代用の物を使って良いか。

A：Tシャツもハーフパンツも代用可。

Q：新校になったとき、学区が広がるが、子どもだけでその範囲に遊びに行ってもいいのか。

A：現在のところ、子どもみの移動は旧学区内のみと、考えています。

Q：引っ越しに保護者のお手伝いは必要か。

A：田口小学校の引っ越しは3月12日に決まりました。詳細については1月下旬に業者との打ち合わせがあり詳細が分かるので、その後に保護者に引っ越し手伝いを依頼するか検討します。

年末年始休業中における緊急連絡対応(佐久市教育委員会より)

年末年始休業期間のうち令和4年12月29日(木)から令和5年1月3日(火)までは学校閉庁日となります。この間の緊急連絡につきましては、以下のとおり対応します。

<期間中の対応等>

(1) 保護者から学校への緊急連絡については、佐久市役所宿日直で受付し学校長宛に連絡をします。

【佐久市役所宿日直：Tel 0267-62-2111】

(2) 保護者からの連絡内容としては「児童生徒の生命に関わる事態が発生した」「児童生徒が行方不明になった」などの重大事案とします。緊急時以外は休み明けに学校までご連絡ください。

(3) 新型コロナに関する報告は児童生徒の陽性が判明した場合のみとし、濃厚接触者になった場合の報告は不要とします。

校長室だより

雁(がん)の隊列

校長 井出 誠一

今年も、冬鳥が飛来する季節を迎えた。冬鳥の一種、雁は多くの仲間たちと隊列を組んで飛ぶ。隊列の先頭には強く丈夫な雁たちが並び、後ろを飛んでいる仲間を風の抵抗から守る。先頭集団を飛ぶ雁たちの羽ばたきによって上昇気流が発生し、後ろを飛ぶ仲間の飛行を容易にしているという研究もあるそうだ。

風向きが変わり、横から風が吹きつけるときには、先頭集団の雁たちが隊列の風上側に移動し弱い仲間たちを守る。また、隊列について行けず集団から脱落する雁がいたときには、必ず数羽がその仲間に寄り添って一緒に集団から離れるのだとも言う。そして、長い距離を飛行する間、先頭集団を飛んでいた雁たちは、一定の距離を飛ぶと次の雁たちに先頭を譲る。そうやって先頭を交代しながら、長い道のりを安全に飛ぶことができる。雁の「ガー、ガー」というあの鳴き声は、互いに「がんばれ、がんばれ！」と励まし合っている声なのだそうだ。

私たちは、自分の持てる力を仲間のために行使できているだろうか。親が子のために、教師が児童のために身を削ることが必ずしも当たり前ではないと思わされるような昨今の悲しい事件を耳にするたびに、私たち人間にも雁と同じような本能在まだ残されているはずだと信じたい。

雁は長距離におよぶ渡りを終えると、降り立った地でそれぞれの生活を始める。そして、次に渡りの時季を迎えると前回とは異なる仲間たちと隊列を組むのだそうだ。来春、子どもたちは統合を迎え、新しい仲間たちと隊列を組んで羽ばたき始める。その彼らを守り、励ますことのできる存在に、今こそ私たち大人がならなければならぬ。

